



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 三和ホールディングス株式会社
 コード番号 5929 URL <https://www.sanwa-hldgs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高山 靖司
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 藤井 克巳
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-3346-3019

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	190,949	4.1	9,579	13.4	9,069	15.9	5,807	16.4
2020年3月期第2四半期	199,167	8.3	11,064	13.6	10,786	16.6	6,945	17.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 5,784百万円 (61.5%) 2020年3月期第2四半期 3,581百万円 (34.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	26.29	26.22
2020年3月期第2四半期	30.95	30.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	350,646	167,756	47.4
2020年3月期	354,023	165,633	46.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 166,079百万円 2020年3月期 164,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		17.00		17.00	34.00
2021年3月期		17.00			
2021年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	420,000	4.6	30,000	12.3	29,000	13.4	18,000	16.8	81.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	231,000,000 株	2020年3月期	231,000,000 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	10,107,040 株	2020年3月期	10,154,344 株
------------	--------------	----------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	220,872,780 株	2020年3月期2Q	224,439,543 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等についてのご注意)

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料の予測には、発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれており、実際の業績は、様々なりリスク要因や不確実な要素により、記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 決算説明会(証券アナリスト、機関投資家向け)について

当社は、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している状況を鑑み、会場での開催は中止とさせていただきますが、決算説明に関しては、当社ホームページにて動画配信させて頂く予定です。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取巻く外部環境は、国内では、新型コロナウイルス感染症の拡大により4月に緊急事態宣言が発令され景気が急速に悪化しました。建築市場においても一部現場の中断などにより弱含みで推移し、受注活動にも影響が生じました。欧米においても、感染拡大による渡航制限や外出制限等により景気は急速に悪化しました。アジアでは主に中国において感染拡大防止のため春節休暇が延長されるなど景気が悪化しました。しかしながら、5月以降の諸制限の緩和に伴い、依然として先行きは不透明なもの、経済活動には回復の傾向が見られました。

このような環境下、当社グループは、「三和グローバルビジョン2020」第三次中期経営計画の2年目を迎え、「グローバル・メジャー」としてのトップブランドの基盤を確立するために引き続き、以下の戦略の取り組みを進めました。コア事業の基本戦略として、国内では、各事業分野でのポジション確立による「動く建材企業」としての成長と事業拡大に向けた体制強化に取り組むとともに昨年買収した鈴木シャッターとのシナジー創出に注力しました。米国では、基幹事業の維持・拡大とともに、周辺事業分野への参入に注力しました。欧州では、産業用製品の更なる拡大と欧州全体のデジタル化の推進を図るとともに昨年買収したロバスト社とのシナジー創出に取り組みました。成長事業の基本戦略として、日米欧のサービス分野の強化を推進し、国内では、法定検査のシェア拡大、欧米ではサービス事業の再編およびフィールドサービスシステムの導入推進を図りました。アジアでは、ドア事業の販売・生産体制の構築、物流市場物件への取り組み強化と生産性改善を行い、また、鈴木シャッター香港を連結範囲に加え、基盤拡充を図りました。

当社グループでは、コロナ禍においても、社会に不可欠な事業として、感染防止対策を万全に施しながら原則稼働を維持しており、ポストコロナを見据えた需要への対応にも取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、期初予想より改善したものの新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により前年同四半期比4.1%減の190,949百万円となりました。利益面では、営業利益は、前年同四半期比13.4%減の9,579百万円、経常利益は、前年同四半期比15.9%減の9,069百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比16.4%減の5,807百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に売上債権の回収等により、前連結会計年度末に比べ3,376百万円減少し350,646百万円となりました。負債は、主に仕入債務の減少や未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ5,499百万円減少し182,890百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,122百万円増加し167,756百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.1ポイント増加し47.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ20,615百万円増加し75,233百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上に加え、主に売上債権の回収等により23,067百万円の資金増加(前年同四半期連結累計期間は6,710百万円の資金増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得により2,296百万円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は11,029百万円の資金減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払により977百万円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は6,434百万円の資金減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の継続により先行き不透明感が強い状況にありますが、当第2四半期連結累計期間における当社グループ事業への影響が想定したほどではなかったこと、また足元の経済回復基調が継続するとの前提に基づき、2020年5月14日に公表いたしました2021年3月期通期の連結業績予想を次の通り修正しております。

売上高は、期初予想より30,000百万円増額し420,000百万円とし、営業利益は、期初予想より8,000百万円増額し30,000百万円、経常利益は、期初予想より8,000百万円増額し29,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、期初予想より5,500百万円増額し18,000百万円としております。

なお、当期の配当予想につきましては、1株当たり年間34.0円（第2四半期末・期末ともに17.0円）から変更していません。

上記の業績予想値は、発表日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますので、実際の業績等は、環境や業況の変化により予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,127	65,882
受取手形及び売掛金	88,441	67,453
電子記録債権	9,283	8,910
有価証券	9,600	11,706
商品及び製品	10,730	9,812
仕掛品	25,372	30,127
原材料	25,814	25,726
その他	7,828	5,094
貸倒引当金	△1,666	△1,849
流動資産合計	222,532	222,863
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	22,052	21,342
土地	21,574	21,524
その他（純額）	25,465	25,279
有形固定資産合計	69,091	68,146
無形固定資産		
のれん	5,264	5,421
その他	18,028	16,785
無形固定資産合計	23,292	22,207
投資その他の資産		
投資有価証券	25,159	23,089
退職給付に係る資産	5,621	5,817
その他	8,773	9,089
貸倒引当金	△448	△566
投資その他の資産合計	39,107	37,429
固定資産合計	131,491	127,783
資産合計	354,023	350,646

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,407	45,617
短期借入金	6,187	6,017
1年内返済予定の長期借入金	5,747	1,331
未払法人税等	5,851	3,321
賞与引当金	6,161	5,740
その他	35,715	39,236
流動負債合計	114,071	101,264
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	11,795	19,545
役員退職慰労引当金	386	421
退職給付に係る負債	13,688	13,450
その他	8,448	8,208
固定負債合計	74,318	81,626
負債合計	188,389	182,890
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,902	39,902
利益剰余金	91,725	93,761
自己株式	△10,036	△9,989
株主資本合計	160,005	162,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	473
繰延ヘッジ損益	41	11
為替換算調整勘定	6,531	5,819
退職給付に係る調整累計額	△2,607	△2,312
その他の包括利益累計額合計	4,059	3,991
新株予約権	281	266
非支配株主持分	1,286	1,409
純資産合計	165,633	167,756
負債純資産合計	354,023	350,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	199,167	190,949
売上原価	141,801	134,797
売上総利益	57,365	56,151
販売費及び一般管理費	46,301	46,572
営業利益	11,064	9,579
営業外収益		
受取利息	277	120
受取配当金	187	187
その他	132	178
営業外収益合計	597	485
営業外費用		
支払利息	307	246
為替差損	—	202
持分法による投資損失	38	143
その他	529	402
営業外費用合計	875	995
経常利益	10,786	9,069
特別利益		
固定資産売却益	21	9
投資有価証券売却益	13	23
課徴金返還額	—	84
特別利益合計	35	118
特別損失		
固定資産除売却損	21	16
投資有価証券売却損	1	—
子会社事業再構築費用	180	7
関係会社整理損	0	2
不具合対策損失	—	37
その他	0	12
特別損失合計	204	77
税金等調整前四半期純利益	10,617	9,109
法人税等	3,632	3,257
四半期純利益	6,985	5,852
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	45
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,945	5,807

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	6,985	5,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109	378
繰延ヘッジ損益	55	△29
為替換算調整勘定	△3,922	△689
退職給付に係る調整額	245	294
持分法適用会社に対する持分相当額	107	△22
その他の包括利益合計	△3,404	△68
四半期包括利益	3,581	5,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,517	5,744
非支配株主に係る四半期包括利益	64	40

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,617	9,109
減価償却費	4,408	4,999
のれん償却額	717	797
課徴金返還額	—	△84
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	89	328
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△505	△396
退職給付に係る負債及び資産の増減額	△71	12
受取利息及び受取配当金	△464	△307
支払利息	307	246
持分法による投資損益 (△は益)	38	143
売上債権の増減額 (△は増加)	12,096	21,682
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,344	△4,024
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,338	△8,774
その他	△1,025	5,715
小計	12,526	29,448
利息及び配当金の受取額	435	321
利息の支払額	△315	△250
課徴金の返還による収入	—	84
法人税等の支払額	△5,935	△6,536
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,710	23,067
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△788	△1,429
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	1,546	2,969
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△7,956	—
固定資産の取得による支出	△3,550	△3,557
貸付けによる支出	△133	△61
貸付金の回収による収入	60	97
その他	△206	△314
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,029	△2,296
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	40	△120
長期借入れによる収入	13	7,751
長期借入金の返済による支出	△190	△4,437
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2,699	29
配当金の支払額	△3,599	△3,754
その他	—	△446
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,434	△977
現金及び現金同等物に係る換算差額	△364	△61
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,118	19,732
現金及び現金同等物の期首残高	47,977	54,618
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,611	883
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,470	75,233

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	103,669	56,360	36,499	2,606	199,136	31	199,167
セグメント間の内部 売上高又は振替高	123	26	18	0	168	△168	—
計	103,792	56,387	36,517	2,606	199,304	△137	199,167
セグメント利益 又は損失(△)	8,832	2,700	1,349	△132	12,749	△1,685	11,064

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

(1) 売上高

- ・その他の売上高 31百万円
- ・セグメント間取引消去 △168百万円

(2) セグメント利益又は損失(△)

- ・その他の利益 31百万円
- ・全社費用 △837百万円
- ・のれんの償却額 △716百万円
- ・その他の調整額 △162百万円
- ・セグメント間取引消去 0百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 日本を除く各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米……アメリカ、カナダ他

欧州……ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、イギリス他

アジア…中国、香港、台湾、ベトナム

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	102,012	53,833	32,185	2,887	190,918	31	190,949
セグメント間の内部売上高又は振替高	53	43	21	0	119	△119	—
計	102,066	53,877	32,206	2,888	191,038	△88	190,949
セグメント利益 又は損失(△)	9,063	2,155	△9	33	11,243	△1,663	9,579

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

(1) 売上高

- ・その他の売上高 31百万円
- ・セグメント間取引消去 △119百万円

(2) セグメント利益又は損失(△)

- ・その他の利益 31百万円
- ・全社費用 △711百万円
- ・のれんの償却額 △797百万円
- ・その他の調整額 △185百万円
- ・セグメント間取引消去 0百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 日本を除く各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米……アメリカ、カナダ他

欧州……ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、イギリス他

アジア…中国、香港、台湾、ベトナム

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。